KUROHONE

地域おこし協力隊　活動報告

News Letter

Vol.69 Autumn 2025.9月

細谷隊員　活動報告

先月は、主にアスパラガスの防除や雑草管理をおこない、雨の日には、鹿の革や角を使ったジビエレザークラフトに取り組みました。材料となる鹿は、地元の猟師さんが有害捕獲したものを使用しています。ただ「駆除する」で終わらせるのではなく、そのいのちに敬意を持ち、感謝を込めて“何かに活かす”ことができないか――そんな想いを込め、作成しました。

今回は、地元の方と一緒に角を選び、キーホルダーや指輪などのアクセサリーに加工。手に取る人に「自然と共に生きることの意味」や「いのちの重み」が少しでも伝わればと思っています。

今年の5月におこなわれた東京でのイベントでは、ジビエレザー作品の展示のみでしたが、10月に群馬県内にておこなわれるイベントでは、販売やワークショップを企画中です。地域の資源を活かしたものづくりを通して、人と自然、そして地域をつなぐ場になればと考えています。

地元の方と作った作品

OB 大畠　活動報告

3月末で退任してから約５ヶ月経ちました。準備が完全にできていたわけではありませんが、何とか家族５人、黒保根で暮らしています。この間、ミュージカル・カンパニー”コア”の活動も継続しています。

６月には、新川公園のイベント、また、太田市の酒蔵で行われたイベントに呼んで頂き、１ヶ月の間に２度のステージに子供も大人も出演しました。

また、８月の桐生まつりでは、新見化学工業の新見社長が主催のヨコマトゥーンという子供達が大勢集まる水かけイベントに出演依頼を頂きました。

次の大きなステージは、１１月２日に太田市のこどもの国で、ミュージカル・カンパニー”コア”単独でミュージカルのステージをやらせて頂きます。

昨年１１月に大好評だった有鄰館での舞台の第二弾を来年開催する予定となっております。ぜひ、どこかのイベント等でお会いできたらと思います。

⇑ ６月１日に新川公園で行われたイベント出演時

⇑ 桐生まつりでのイベント出演の様子

地域おこし協力隊とは：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、地域協力活動や起業・定住に向けた活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。（総務省HPより）

発行/桐生市地域おこし協力隊
担当　細谷